

マリヤとマルタとラザロの3兄弟姉妹は、イエス様の親しい友だちであり、イエス様が3年間布教をなさっている間、弟子でもありました。彼らはエルサレム近くのベタニヤという村に住んでいました。

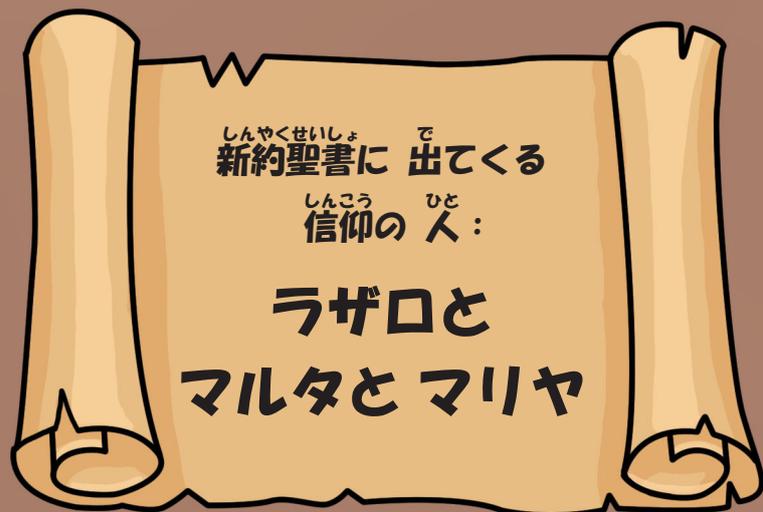
聖書には、この3人にまつわる信仰についてのお話がいくつか書かれています。その一つは、イエス様が弟子たちと彼らの家を訪ねていた時のお話です。女の人たちはいつものように、お客さんの食事を用意していました。その間、イエス様は男の人たちに話していました。イエス様が話しているのを聞いたマリヤは、マルタに料理をさせたまま、イエス様の元へ行ってすわり、耳をかたむけていました。



マルタは食事の支度を続けていましたが、妹が手伝わないのでいらいらしてきました。そのことをイエス様に話すと、イエス様はこう言われました。

お話の一部始終をルカによる福音書 10:38-42で読んでみましょう。

マリヤは、わたしの教えに目をかたむけるといふ、一番大切な事をえらんだんだよ。¹



かのじょ 彼女たちの ^{きょうだい} 兄弟 ラザロが ^し 死んで ^{よっか ごと} 4日後に、イエス様が ^{さま} 彼を ^{かれ} 生き返らせたという、おどろきに ^み 満ちた ^{はなし} お話も あります。

このワクワクする ^{はなし} お話は、ヨハネによる ^{ふくいんしょ} 福音書の 11:1-45に ^か 書かれています。 ^よ 読んでみましょう。



^{きょうだい} 兄弟の ^し 死を ^{かな} 悲しみながらも、マルタは ^{さま} イエス様と ^あ 会って、^{さま} イエス様の ^{ちから} 力を ^{ふか} 深く ^{しん} 信じている ^{こと} ことを ^い 言い表します。「^{しゅ} 主よ、あなたが ^{この} 世に ^き 来たるべき ^{きりすと} キリスト、^{かみ} 神の ^み 御子で ^あ あると ^{しん} 信じております。」(口語訳聖書、ヨハネによる ^{ふくいんしょ} 福音書 11:27) ^{この} 発言が ^{はつげん} 注目 ^{ちゅうもく} に ^{あた} 値する ^{りゆう} 理由とは、^{さま} マルタは ^{さま} イエス様が ^い ラザロを ^{かえ} 生き返らせる ^{まえ} 前に ^{ことば} この ^い 言葉を ^い 言った ^{こと} ということです。



^{さま} イエス様が ^{おとず} ベタニヤを ^{とき} 訪れていた ^{とき} 時、^{さま} マリヤが ^{さま} イエス様の ^{あし} 足に ^{こうが} 高価な ^{こうゆ} 香油を ^め めって、^{じぶん} 自分の ^{かみ} 髪の毛で ^け ふいた ^い という ^{はなし} お話も あります。

^{てし} 弟子たちの ^{ひとり} 一人が ^{くじょう} そのことで ^い 苦情を ^い 言いました。それが ^{だれか} だれか、^し 知って ^い いますか？ ^{この} お話の ^{いちぶ} 一部始終は、^{ふくいんしょ} ヨハネによる ^{福音書} 福音書の 12:1-8に ^か 書かれています。この ^{くじょう} 苦情 ^{たい} に対して、^{さま} イエス様が ^{なん} 何と ^{こた} 答え ^よ たか、^よ 読んでみましょう。